

大規模水田作経営の所得拡大のためには 園芸の導入が重要である

福島県農業総合センター 企画経営部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

農業経営 - 農業経営 - 経営診断、所得、農業生産構造
分類コード 15-01-30596100

2 担当者

引地力男・依田浩文

3 要旨

大規模水田作経営では、麦、大豆等の土地利用型作物を導入することが一般的だが、これら土地利用型作物での所得向上は限界があり、更なる所得拡大には雇用労働力の活用による園芸部門の導入が有効に作用する。

- (1) 本県の大規模水田作経営(経営規模{水稻・麦・大豆の特定作業受託含む}10ha以上)においては、園芸作(野菜、果樹、花き)が導入されている事例が多い。
- (2) 大規模水田作経営の農業経営収支は、水田経営所得安定対策(品目横断的経営安定対策)に加入した方が有利である。
- (3) 線形計画による経営シミュレーション(価格水準:H19)では、水稻と大豆を組み合わせた経営規模30haの所得は800万円程度で頭打ちとなるが、野菜(アスパラガス{ハウス長期どり})を1.7ha取り入れると、1日5人程度の雇用労働力の確保により2,460万円程度の所得が期待できる。

4 その他の資料等

なし